

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年4月14日（水）
- 2 確認箇所
使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）
- 3 確認項目
使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）の現況

4 確認結果の概要

セシウム吸着装置で発生した使用済吸着塔や多核種除去設備で発生したスラリーを収容した高性能容器（以下「H I C」という。）等は、使用済セシウム吸着塔一時保管施設で保管されており、このうち使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）（以下「第三施設」という。）には、H I Cが専用のボックスカルバート内で保管されている他、未使用のH I C格納用ボックスカルバートや未使用のセシウム吸着装置等格納用ボックスカルバートが設置されている。

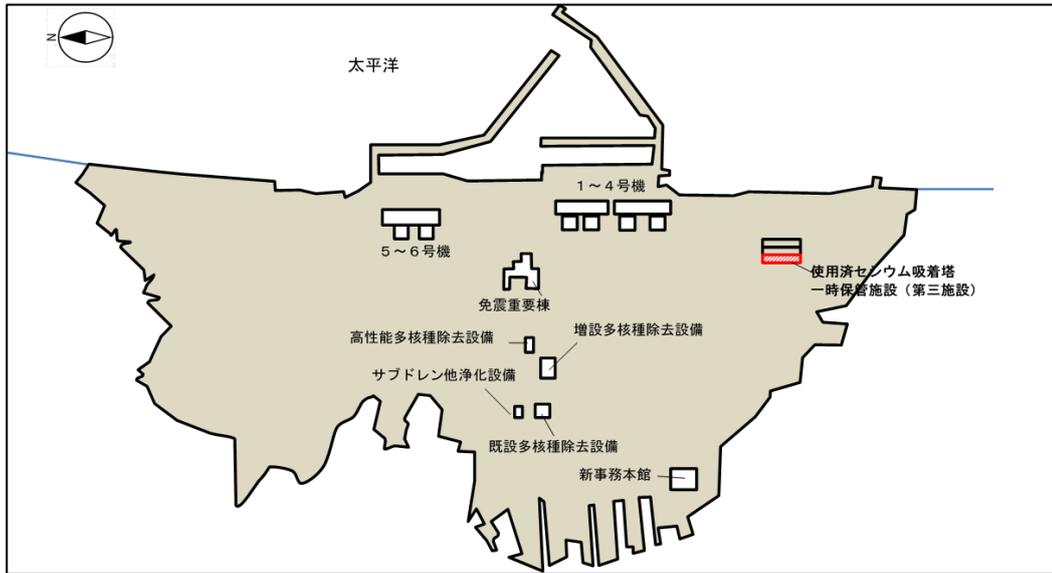
第三施設においては、H I C格納用ボックスカルバートの増設^{※1}やH I Cに収容されている多核種除去設備で発生したスラリーを安定化する処理設備の設置^{※2}が計画されていることから、第三施設の現況を確認した。

（図1）（前回確認：[令和2年10月29日](#)）

- ・第三施設の南側には敷鉄板等が搬入されていたが、設置されている未使用のセシウム吸着装置等格納用ボックスカルバートは、前回確認時と状況に変化はなく、まだ撤去されていなかった。（写真1）
- ・第三施設の北側は、柵が取り外されて、多核種除去設備スラリー安定化処理設備設置予定地周辺が単管バリケードで区画されていた。（写真2）

※1 H I C格納用ボックスカルバート増設計画：H I Cの保管容量を確保して多核種除去設備の安定運転に資することを目的に、使用見込みのないセシウム吸着等格納用ボックスカルバートを撤去し、代わりにH I C格納用ボックスカルバートを1ブロック（192基分）（既設：18ブロック（3,456基分））を増設する計画であり、令和2年11月17日に実施計画の変更認可を申請している。なお、第三施設のセシウム吸着装置等格納用ボックスカルバートは撤去されるが、第一、第四施設のセシウム吸着装置等格納用ボックスカルバートに空き容量が確保されている。

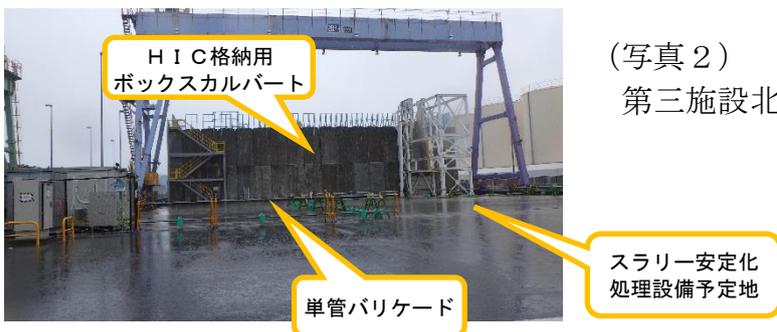
※2 多核種除去設備スラリー安定化処理設備設置計画：H I Cに収容されている多核種除去設備から発生した放射線量が高いスラリーが保管中に漏えいする等のリスクを低減することを目的に、第三施設の北側にスラリーを脱水・固形化する設備を設置し、固形化した廃棄物を固体廃棄物貯蔵庫で保管する計画であり、令和3年1月7日に実施計画の変更認可を申請している。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
第三施設南側の状況
(南東側から撮影)



(写真2)
第三施設北側の状況
(北側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。